

コンビーノ 60GR-FS 取付説明書

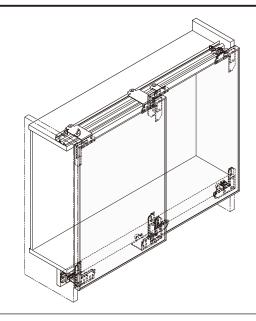
■施工する方へのお願い

このたびは、EKU製コンビーノ 60 GR-FSをご採用いただき、誠にありがとうございます。 取付前に本書をよくお読みいただき、正しく施工いただくようお願いいたします。

⚠ 警告-

誤った取り付けは、施工時だけでなく使用時に思わぬけがをする恐れがあります。 本書の説明、注意事項をお守りください。

- 本書はコンビーノ60GR-FSの取付説明書です。
- 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。
- 施工中に発生した木材のかすがレールの中に残らないようにきれいに取り除いてください。
- タッピンねじは、最も近い呼びのねじをお使いく ださい。
- 板の小口にタッピンねじを使うときは、板が割れないよう下穴を開けるなどの処置を行ってください。



本書は、ひとつのキャビネットに本製品を取り付けることを想定したうえで、もっとも安全かつ効率的に取り付けできると思われる方法を記載しました。

したがって、必ずしも取り付けの順序や方法を規制するものではありません。

家具メーカ様におかれましては、専門家としての確たる工程をお持ちと考えますので、この説明書に記載された方法にとらわれず、施工される方の専門技術とご経験に基づいて製作してください。

その場合でも、必ず事前にこの取付説明書に一度目を通してくださるようお願いします。 この取付説明書で使っている寸法は、加工や組立による誤差や材料そのものの変形等を考慮してお りません。作業においては、このことをご考慮のうえ、切断等の加工を行ってください。

■取り付けできる扉

扉質量	最大 60kg以下(扉1枚当り)	
ガラス厚 4 mm		
扉寸法 幅 1800 mm以下、高さ 2400 mm以下		



■この説明書で使う工具と準備していただくもの

- ・十字ねじ回し 2番
- ・六角棒スパナ 呼び3、4
- ・アルミニウム合金型材を切断できる機械または工具
- ・十字穴付なベタッピンねじ3.5×16
- ・十字穴付なベタッピンねじ4.5×35

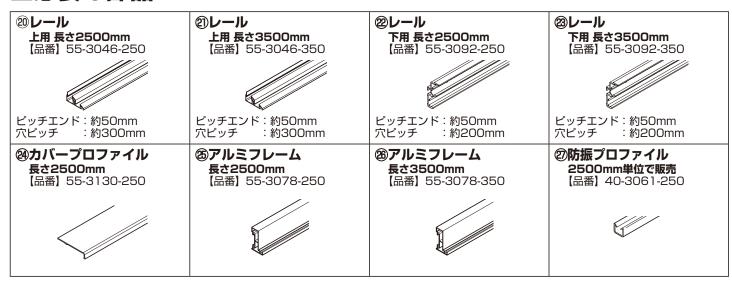
■部品

それぞれ、以下の品番が記載された袋に入っています。

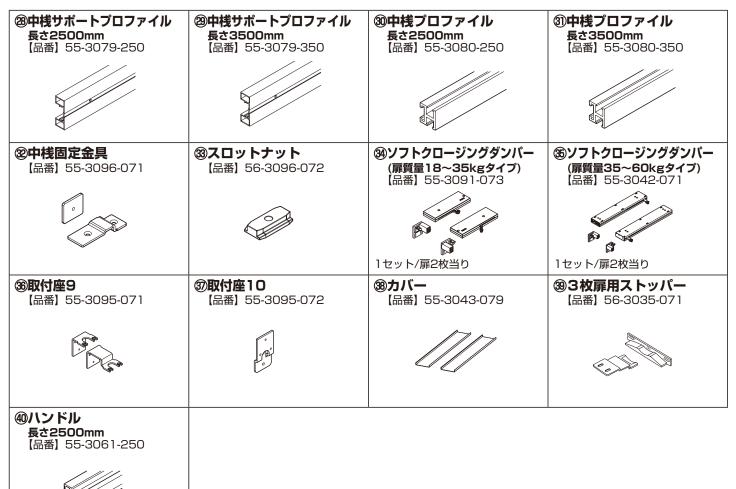
部品セット(2枚扉用)	55-3077-071	部品セット(3枚扉用)	55-3077-072
①ローニー/内側豆田)	②ローニー(内側屋田)	②ローニー(分側を用)	☆□_=_/从側京田)
①ローラー(内側扉用)	②ローラー(内側扉用) 	③ローラー(外側扉用)	④ローラー(外側扉用)
2枚扉用] ケ	2枚扉用] ケ	2枚扉用] ヶ	2枚扉用] ケ
3枚扉用 2ヶ	3枚扉用 2ヶ	3枚扉用]ヶ	3枚扉用] ケ
⑤ガイドローラー(内側扉用)	⑥ガイドローラー(外側扉用)	⑦コーナー金具(下用)	⑧コーナー金具(上用)
2枚扉用 ·········· 2ヶ	2枚扉用 2ヶ	2枚扉用 4ヶ	2枚扉用 4ヶ
3枚扉用 4ヶ	3枚扉用 2ヶ	3枚扉用 6ヶ	3枚扉用 6ヶ
⑨コーナー金具(連結用)	⑩ストッパー	①キャッチ	⑫ストッパー
2枚扉用 8ヶ	2枚扉用 4ヶ	2枚扉用 2ヶ	2枚扉用4ヶ
3枚扉用 12ヶ	3枚扉用 4ヶ	3枚扉用 3ヶ	3枚扉用 4ヶ
() () () () () () () () () ()			
③ブッシュ	⑭戸当り	⑤戸当り固定パーツ	⑥戸当り
2枚扉用 12ヶ	2枚扉用 1ヶ	2枚扉用] ケ	2枚扉用 ーケ
3枚扉用 18ヶ	3枚扉用 ーケ	3枚扉用 ーケ	3枚扉用 2ヶ
		°	
⑪戸当り	⑱幕板クリップ	®ねじセット	2枚扉用 3枚扉用
2枚扉用 ーケ	2枚扉用 6ヶ	十字穴付皿小ねじ N	M5×8 25 <i>r</i> 36 <i>r</i>
3枚扉用 3ヶ	3枚扉用 9ヶ		15×10 28τ 42τ
			M4×6 16ヶ 24ヶ M4×8 - 2ヶ
		十字穴付皿タッピンねじ	3×10 65 95



■必要な部品



■オプション部品



1.オプションのソフトクロージングダンパーを併用する場合、以後本文中の右のマークで示した説明と、ソフトクロージングダンパーの取付説明書(別冊)をご確認ください。



- 2.キャビネットの台輪部分に化粧板をつけるときは、化粧板の寸法は次のようにしてください。
 - [1] 長さは、(KIM/(扉の数))mm にしてください。
 - [2] 厚み×幅は、10 mm × 58 mm にしてください。
 - [3] 扉の数と同じ数だけ作成してください。



■寸法図

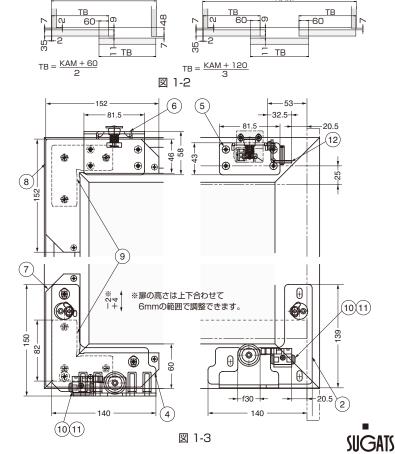
この説明書には、六角形[●]のあと、"SW"の文字が表示されています。この記号は、六角棒スパナの二面幅の寸法です。

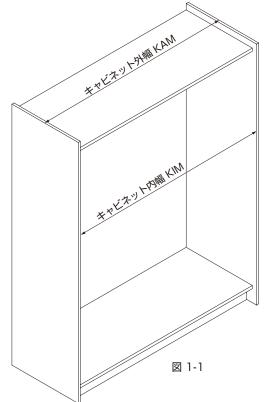
1.寸法の表し方(図 1)

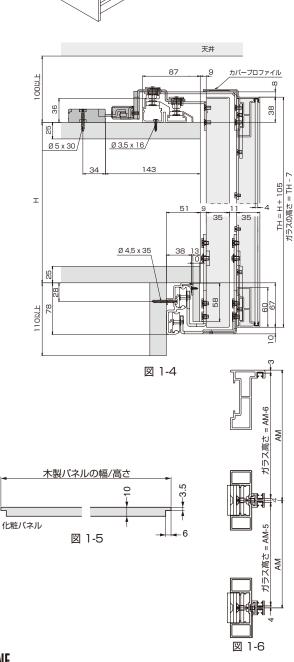
KIM:キャビネット内幅 KAM:キャビネット外幅

2.平面方向の寸法

- (1)図 1-2の中の"TB"の文字は、扉の幅を表しています。
- (2)扉幅は、扉が閉じたときの扉先がキャビネットの側の外側から、2 mm 内側で止まる場合で設定してあります。
- (3)2枚引戸のとき (図 1-2 左) TB= (KAM+60) /2
- (4)3枚引戸のとき (図 1-2 右) TB= (KAM+120)/3
- 3.扉の各部の寸法(図 1-3)
- 4.断面方向の寸法(図 1-4)
- 5.化粧パネル等の寸法
 - (1)化粧パネル等が1枚のとき
 - [1]高さ=TH-7
 - [2]幅=TB-7
 - [3]厚みは、4 mm
 - [4]化粧パネル等が木製の板の場合、パネル四辺は、図1-5 のように加工してください。
 - (2)複数の化粧パネル等を組み込むときの配置は、図 1-6 のように行なってください。ここに、
 - [1] 高さ=AM-6
 - AMは、それぞれの位置の間隔です(図 1-6)。
 - [2] 幅=TB-7



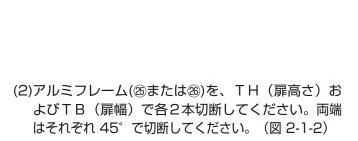


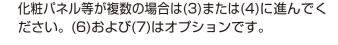


■作業手順

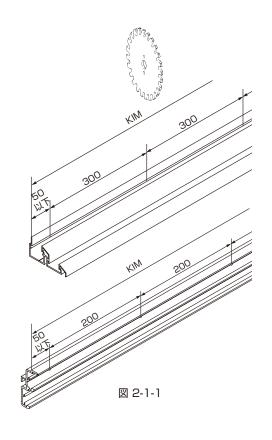
■ レールを切断し、取付穴を開けます

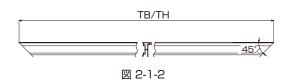
- (1)ガイドレール(②~③)を右図のように切断し、穴加工を行う(図 2-1-1)。
 - [1]KIMと同じ長さに切断してください。
 - [2]切った位置の都合で取付穴が端から遠く離れてしまう場合は、端から50mm以内の場所に穴 (ϕ 4)を開けてください。

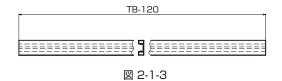


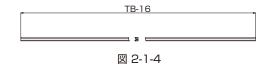


- (3)中桟サポートプロファイル(®または®)を (TB-120) mmで切断し (図 2-1-3)、両端から17.5 mm ずつ、その間に最大 250 mm間隔で、径 5.5 の穴を開けてください。
- (4)中桟プロファイル(30または30)を(TB-16) mm の 長さで切断してください(図 2-1-4)。
- (5)防振プロファイル②をガラスあるいは化粧パネル等の四辺の長さに合わせて切断してください。
- (6)カバープロファイル@をつける場合TB と同寸法で切断してください(図 2-1-5)。
- (7)ハンドル⑩をつける場合最大THmmで切断してく ださい(図 2-1-6)。

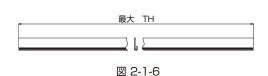














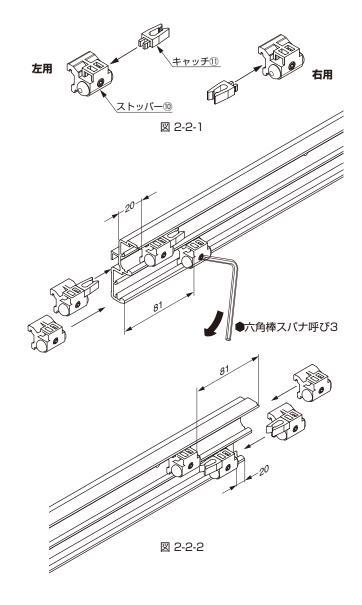
2 レールにストッパーを組み込みます

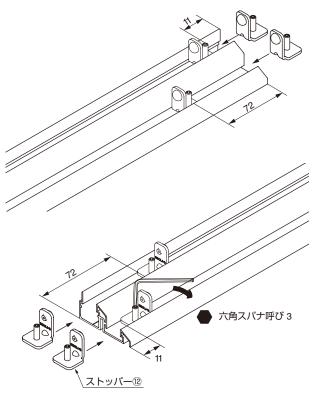
- (1)下用のレール(②または③)にストッパー⑩および キャッチ⑪を図 2-2-1 のように組み込んでくださ い。
 - [1]ストッパー⑩にキャッチ⑪を次のように組み込んでください。
 - <1>左用・右用とも1組ずつ作ってください。
 - <2>3枚扉のときは、中央の戸を左に動かすときは右用を、右に動かすときは左用を作ってください。
 - <3>ここで組んだ物をストッパー組み立てと呼びます。
 - [2]下用のレール(②または③)にストッパー⑩とストッパー組立を図 2-2-2 のように組み込んでください。
 - <1>位置は、左右対称ではないので、ご注意く ださい。
 - <2>ストッパー組立のキャッチ⑪は、中央に向くように組み込んでください。



ソフトクロージングダンパー(オプション)を併用する場合はキャッチ⑪部分は 使用しません。

- (2)上用のレール(②または②)にストッパー②を図 2-2-3 のように組み込んでください。
 - [1]上用のレール(②または②)にストッパー②を左右 から組み込んでください。
 - [2]位置は左右対称ではないので、ご注意ください。



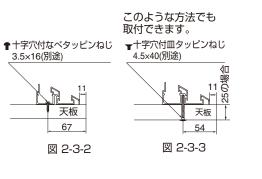


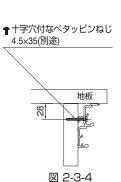


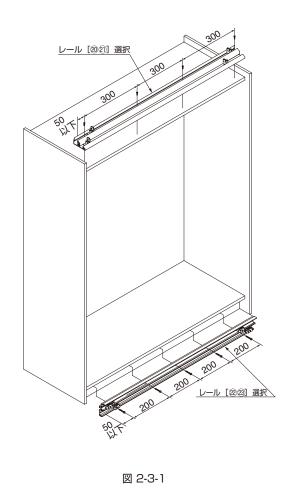


☑ レールをキャビネットに取り付けます

- (1)上用のレール(②または②)をキャビネットに、図 2-3-1 および次のように取り付けてください。
 - [1]キャビネットの天板の上面に、その幅の中心と上 用のレール(@または@))の長さの中心を合わせ、 奥行方向は図 2-3-2 の寸法で、ねじで取り付け てください。
 - [2]キャビネット内側からねじで呼び込むときは、 図 2-3-3 のようにしてください。
- (2)下用のレール(②または③)を台枠に、固定してください(図 2-3-1、図 2-3-4)







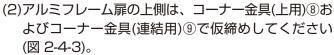
4 アルミフレーム扉を組み立てます

図 2-4-1 および図 2-4-2 は中に入れるパネルが複数 のときです。1枚のときは、中央の桟を省略して図を参考にしてください。

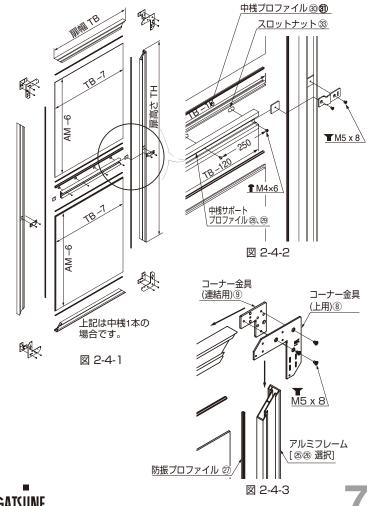
このときは(3)から進めてください。

(1)オプションの中桟プロファイル(⑩または⑪)は、中 桟固定金具ใなびスロットナット30で組み立てく ださい。

後で修正することがあるので、本締めはしないでく ださい。



後で修正することがあるので、ここでは、本締めは しないでください。

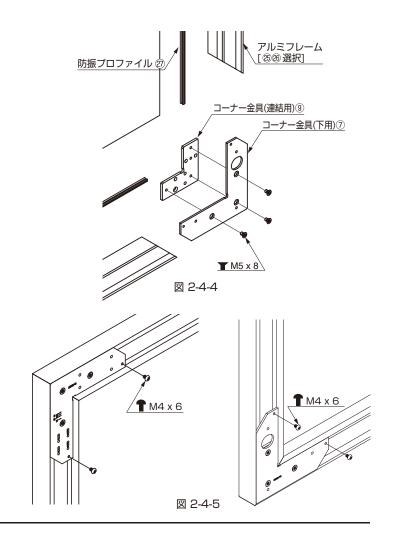




(3)アルミフレーム扉の下側は、コーナー金具(下用)⑦およびコーナー金具(連結用)⑨で組み立てください (図 2-4-4)。

後で修正することがあるので、ここでは、本締めは しないでください。

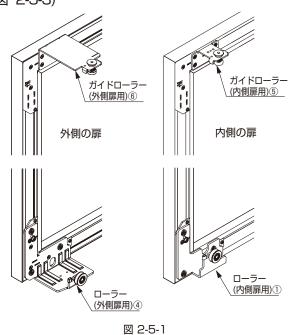
(4)各部の直角を確認しながら本締めし、上下のコーナー金具(⑦および®)をアルミフレームに固定してください(図 2-4-5)。



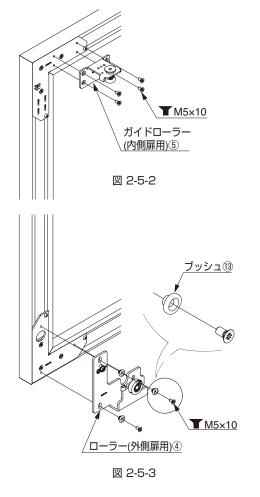
日 アルミフレーム扉にガイドを組み込みます

(1)内側のアルミフレーム扉には内側扉用のローラー(①および②)、ガイドローラー⑤、外側のアルミフレーム扉には外側扉用のローラー(③および④)、ガイドローラー⑥を上下それぞれに組み込んでください(図 2-5-1、図 2-5-2)。

(2)ローラー①~④はブッシュ³と共締めしてください。 (図 2-5-3)

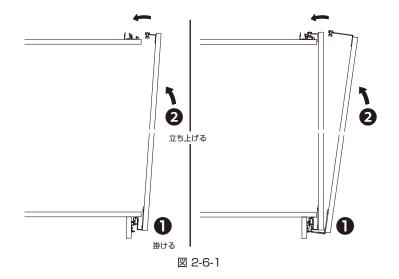




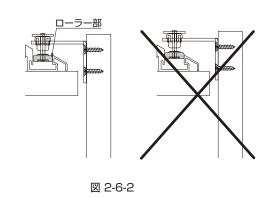


日 アルミフレーム扉をキャビネットに組み込みます。

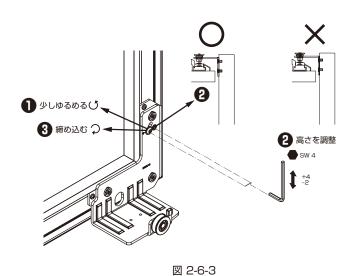
(1)内側アルミフレーム扉のローラー①、②を下用のレール(②または③)に先に組み込んでください。それから、ガイドローラー⑤を上用のレール(②または②)に組み込んでください(図 2-6-1)。



(2)ガイドローラー(⑤および⑥)のローラー部がガイドレールの平面部の中に完全に納まるよう取り付けてください(図 2-6-2 の左の図)。



- (3)外側アルミフレーム扉を、同じようにキャビネット に組み込んでください。
- (4)調整は、ローラー①、②および③、④にあるねじを **●**~**③**の手順で回して行ってください(図 2-6-3)。

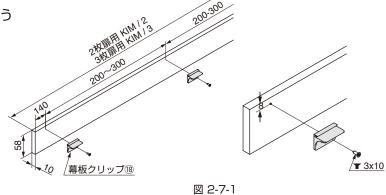




☑ 幕板を取り付けます

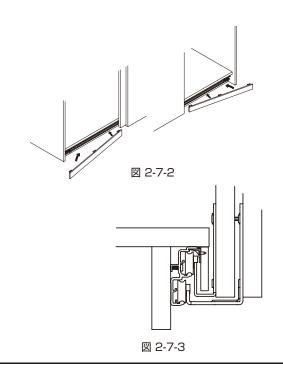
(1)幕板の裏側に、幕板クリップ®を図 2-7-1 のように止めてください。

(幕板はお客様で制作してください。)



(2)幕板をキャビネットに組み込んでください。 (図 2-7-2、図 2-7-3)

組み込みは、幕板クリップ®を下用のレール(②または③)に差し込むようにしてください。

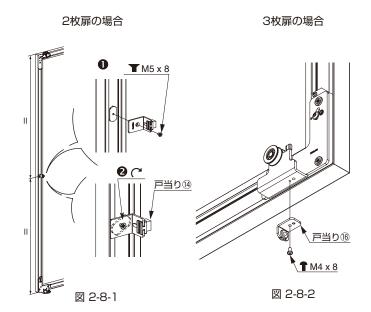


3 戸当り(値または⑯)を取り付けます

(1)2枚扉の場合、戸当り⑭は扉の高さの中心に取り付けてください。

この時、ねじを回しながら戸当り固定パーツを回転させ、アルミフレーム枠に引掛けて締め込みます(図 2-8-1)。

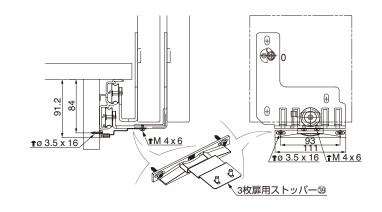
(2)3枚扉の場合、戸当り⑯はローラー(内側扉用)①にあるねじ穴に取り付けてください。





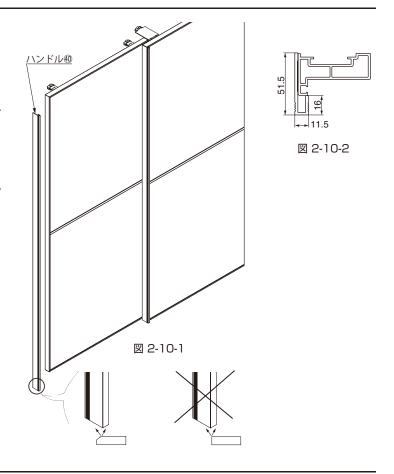
② 3枚扉用ストッパー③のを取り付けます (オプション)

- (1)3枚扉用ストッパー③の幅方向の中心を、外側の扉を止めておきたい位置のローラ(③、④)の中心に合わせ、位置を決めてください。
- (2)キャビネットに3枚扉用ストッパー39を取り付けてください。



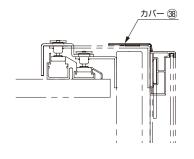
Ⅲ ハンドル⑩を取り付けます(オプション)

- (1)ハンドル40を図 2-10-1 および図 2-10-2 のよう にアルミフレーム扉に付属の両面粘着テープで貼り 付けてください。貼付面は事前に清掃してください。
- (2)ハンドル⑩のエッジは、危険防止のため角を落としてください。



■ カバープロファイル38を取り付けます (オプション)

(1)ガイドローラー(外側扉用)⑥の天辺に両面粘着テープ(別途ご用意ください)で接着してください。





旧 戸当り切を取り付けます(3枚扉のみ)

開閉使用により取付位置を決めてください。

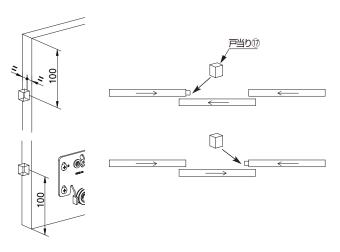


図 2-12-1

本書に記載された製品の品名・品番・仕様・外観は、改良のために予告なく変更することがあります。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお願いいたします。

アーキテクトサポート室 電話番号 **03 (3864) 1122** 受付時間 **月〜金 9:00〜17:30** (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03 (3863) 6875

FAX 03(3863)6875 E-mail:support@sugatsune.co.jp 東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032



ISO 9001(JSAQ384)・ISO14001(JSAE597) 審査登録 **B09001:国内各拠点 *ISO14001:干菜事業部 干菜工場 および 物流事業部 物流センター http://www.sugatsune.co.jp/